

駒の子短歌

No.18 令和4年6月7日(火) 佐久市立望月小学校

足にハンディーのあるRさん。昨年まではかけこで、スタートラインを前にずらしていました。

しかし、今年は本人の希望でハンディーキャップなしにしました。その理由を聞くと

「みんなと一緒にやいたかった」

とのことでした。

よく考えてみれば、ハンディーは誰もがもっています。そのハンディーを一人一人が自然に乗り越えて、友だちと競い合い、また友だちと支え合ったり、励まし合ったりして成長した運動会でした。



誰にでも あるハンディーを 乗り越えて
競い励まし ともに成長